

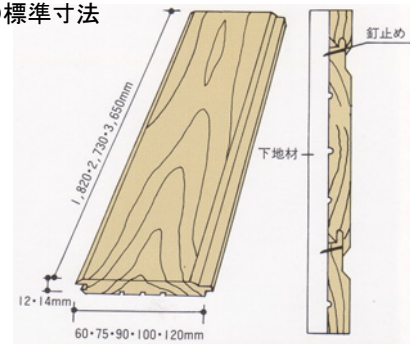
## 壁材の種類

### 【羽目板】

羽目板とは、壁面に連続して張り付ける板をいいます。1枚1枚違う木目模様とムク板の素朴な味わいが個性的で安らぎのある空間をつくり出します。



#### ●標準寸法



カラマツ（写真左上）やスギ（写真左下）、トドマツ、タモ…など、羽目板には様々な種類があります。

壁部分だけではなく、外断熱工法採用の小屋裏のない家などでは、天井部分に使用する例（写真右）もあります。

### 【集成材】

一枚板とは違った趣があり、デザイン的にも普通の木目にならない使い方ができます。

#### ●標準寸法（単位：mm）

厚さ 10×幅 122×長さ 3,650

厚さ 10×幅 153×長さ 3,650

厚さ 11×幅 113×長さ 3,650



### 【化粧合板】

美しい色調・木目の木材を部屋の壁などの内装や家具に用いれば、すばらしい住み心地の環境が得られます。

一般的に銘木化粧合板といわれているのは、色調・木理のよい広葉樹の原木を0.18～3mm程度に薄く削った板（ツキ板又は単板という）を台版に張り付けたもので、天然木化粧合板ともいいます。同じ色調・木理の美しい合板を比較的安価に入手することができます。

（化粧合板は壁面、腰板、扉、家具に使われるほか複合フローリング、ピアノ、車両、船舶、航空機など広い範囲で使用されています。）

#### ●標準寸法（単位：mm）

厚さ：2.7・4

幅：606・610・910

長さ：1,820・2,430



木は、たとえスライスされて、ツキ板となっても「木」の持つ「ぬくもり」は失われません。

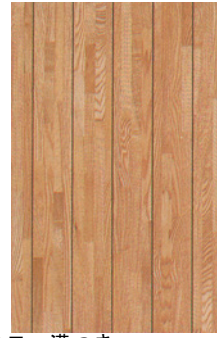


## 【化粧合板（集成タイプ）】

化粧合板にも、集成材のツキ板を表面に張ったタイプがあります。



タモ



タモ 溝つき



セン



セン 溝つき

## 【普通合板】

ダイコンのかつら剥きの要領で木を薄く剥いた板（ロータリー単板）を表面に張ったもので、壁材としてはシナ合板が一般的です。

木の色そのままに壁に張ったり、塗装したり、いろいろなバリエーションが楽しめます。

### ●標準寸法（単位：mm）

厚さ : 4・5.5・9・12・19

幅×長さ : 910×1,820（呼称 3×6）

910×2,130（呼称 3×7）

1,220×2,430（呼称 4×8）



## 【その他の合板】

右の写真は、下地材として使われる合板を住宅の内装に使った例です。

節の多い荒々しい木材も、こうして使われるとすんなり受け入れられるのが不思議です。

これもやはり、木自体が私たち人間にとってやさしい素材だからなのでしょう。

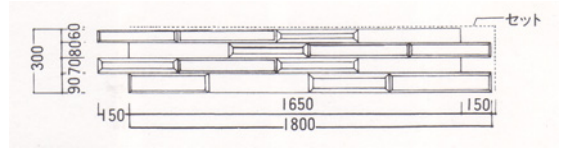


## 【ブロック壁材】

木をブロック状にしたものを壁に張り付けるもので、重厚感、立体感があります。



●標準寸法（単位：mm）



半割丸太の製品は、外壁に張り付けることが多いのですが、室内に使用して山小屋風の雰囲気を演出することもできます。



[\[内外装材取扱企業\]](#)